

高知憲法速報

No.187 2009. 2. 27

発行：高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

伊藤千尋さん講演会 2月11日

「伊藤千尋さんの話を聞く会」が主催した憲法講演会「世界の宝！日本国憲法を活かそう！」が2月11日午後、高知女子大学永国寺キャンパスで開かれ、約200名が参加して朝日新聞社伊藤千尋さんの話に聞き入りました。講演要旨次の通り。

スペイン沖カナリア諸島に「日本国憲法9条の碑」がある。これからの平和を願い、市議会でも満場一致で可決して、白いタイルに青い文字で焼き付けられたスペイン語の「憲法9条」は、憲法が日本人だけのものではないことを教えている。アメリカでは9・11テロ事件の後、「反テロ愛国法」が成立して盗聴が許されることになった。「愛国の熱狂」の中で次に提出された「戦争する権限を大統領に一任する法律」は上院は満場一致で通過したが、下院ではバーバラ・リーという民主党の女性議員がただ一人反対した。国民がパニックに陥り、「アメリカに団結しよう」という時に、憲法を読みなおし、議会の役割とは何かを考えて行動した彼女は、最初は孤立したが1年後に圧勝して再選された。よって立つべきものは憲法だった。マイケル・ムーアという映画監督は映画でたたかった。コスタリカでは内戦で2000人が死んだ反省から、軍隊を廃止して国家予算の30%を占めていた軍事費をすべて教育費に回した。世界でトップクラスの教育国家になり、国連平和大学を誘致し、三つの国の内戦を終わらせ、平和を輸出する国として周辺国から尊敬されるようになった。小学校2年生が憲法違反の訴訟を起こすことができるし、国民が自分の国を誇りに思っている。ベネズエラでも普通の市民が憲法を普段の生活で使っている。

自粛とか遠慮は美德ではない。憲法をきちんと使うことが大切だ。中南米での反米左派政権の登場など世界は変わりつつある。武力による革命ではなく、アメリカに抵抗して運動していた人たちが選挙で当選して大統領になってきている。自分ができることを考えて実行したらよい。「9条着物っ娘」という若い女性の実践がある。一人ひとりが主人公として行動することで世の中が変わる。市民の力で政府を変えた経験がない日本でもやればできる。実績を作ることから始まるのではないか。

伊藤さんの講演は元気をもらったと好評でした。「伊藤さんの話を聞く会」が感想文集を作成しています。

学習協主催・経済問題学習会 3月14日

講演：「世界同時不況が来た！-21世紀の日本はどのような社会をめざすべきか-」

講師：月刊「経済」前編集長・友寄英隆さん

3月14日(土)2時~5時 かるぼーと11階講義室

子どもと教育を守る連絡会・学習会と総会

3月15日(日)高知城ホール2階1:30~4:30

学習会「子どもをはぐくむ地域と学校」1:30~

講師：東海大学教授山下雅彦さん 3:40~総会

サロン金曜日高知・講演会 3月22日

パレスチナ映画「レインボー」上映 41分

講演：「ガザからの報告」講師：京都大学大学院人間環境学研究科准教授・岡真理さん 専門は現代アラブ文学、第3世界フェミニズム思想。ガザとのパイプを維持し日本国内に現地情報を発信中。

著書に「アラブ 祈りとしての文学」など

3月22日(日)午後1時~人権啓発センター6階ホール 参加費：1000円予定

憲法署名の集約について

「こうち九条の会」は2月21日街頭署名を行いました。7人で120筆。温かい土曜の午後で若い人たちがたくさん署名してくれました。

憲法会議は2月19日が雨で延期、次回は3月19日(木)5:30~を予定しています。

各団体の集約数や取り組みを報告してください。